# 1. ID・パスワードの一部及びネットワーク構成の変更注意

本資料では、導入時に当社にて設定する複数のID・パスワードの一部で、<u>お客様単独に</u> て変更を行わないでいただきたいものをご案内します。※変更した場合、復旧に再設定 工事等の工事費用が発生いたします。

またオンライン資格確認の**ネットワーク構成変更を行う際は、当社へご相談**願います。

## 1-1. ID・パスワードの一部について、変更注意の内容

#### 1-1-1. お客様単独で変更するとトラブルが生じるアカウント

下記のID・パスワードの変更は、連携システム等と同時に、所定の手順での変更が必要です。

アカウント名	変更した場合の障害
Windowsアカウント	・各アプリが自動アップデートしなくなります
*NTT東日本が設置時に作成	・レセプト等システムと連携できなくなります
<b>顔認証アカウント</b>	・顔認証付きカードリーダーがエラーになりマイナンバーカードによる確
*NTT東日本が設置時に作成	認等ができなくなります
連携アカウント	・レセプト等システムと連携できなくなります
*NTT東日本が設置時に作成	・保険証等の資格確認や薬剤情報等の確認ができなくなります



#### 1-1-2. 変更いただいて問題のないアカウント

アカウント名	説明	
管理者アカウント *NTT東日本が設置時に作成	各アカウントを作成、管理するためのアカウント ※お客様にて変更可能ですが、端末が故障やPC追加、承継等の工事の際 等には本ID・パスワードが必要ですので、忘れずに管理してください	
ー般アカウント	オンライン資格確認端末(PC)で資格確認を行うためのアカウント(管理ア	
(お客様にて作成)	カウントとは別に作成するのが望ましいものです)	
医療情報閲覧アカウント	オンライン資格確認端末(PC)で資格確認、薬剤情報、特定検診情報等がで	
(お客様にて作成)	きるアカウント(有資格者が参照するためのものです)	

## 1-2. ネットワーク構成変更不可の内容

院内のネットワーク構成(物理配線変更、回線変更等)の変更を行うと、オンライン資格確認等シ ステムに影響が発生する場合がございます。院内のネットワーク構成の変更を行う際には、当社へご相 談いただくよう、お願いいたします。

# 2. 資格確認端末の各アプリケーション最新化手順

本資料では、オンライン資格確認端末(PC)の、日々の運用についてご案内します。 【ポイント】

- ・オンライン資格確認端末に設定済みの各アプリ(アプリケーション)は、ネットワーク内の 配信サーバーより更新ファイルが不定期に配信されます
- ・更新ファイルが配信された際、オンライン資格確認端末の電源をON・OFF、または端末を 再起動することにより、インストールが行われ最新化されます

## 2-1. オン資PCの日々の運用について

### 2-1-1. 資格確認端末(オン資PC)は、業務開始時に電源をオンにし、業務終了時に電源をオフ にする運用を行ってください

※資格確認端末は、アップデートの反映やシステム処理のリセットを行い、 アプリケーションの正常動作を維持するために、1日1回は再起動を行うこ ととされています。

※資格確認端末をレセプトシステムと連携し、レセプトシステムから資格確認を行う運用の場合は、はじめに資格確認端末を起動してから、レセプトシステム端末の電源をオンにしてください。

順番が異なるとうまく連携ができないことがあります。

#### 自動電源設定の場合

自動電源設定の場合は、AM4:00(デフォルト値)に再起動します。 ※自動電源設定の確認はヒアリングシートで確認できます。

長期間電源を入れたままで再起動を行わない場合、各アプリ等が最新化されず、オンライン資格確認 等システムに接続できない、顔認証カードリーダーにエラーが出る、レセプトシステム等と連携ができない 等のトラブルが確認されております。

長期間電源のON・OFFを行っていない場合は、下記の項目を実施して各アプリを手動で強制的に最新化にしてください。

### 2-1-2. 各アプリケーションを手動で最新化する方法





# 3. 電子証明書のバックアップ手順-1

本資料では、「電子証明書」のバックアップ手順についてご案内します。

## 【ポイント】

・オン資PC故障時等の際、バックアップした「電子証明書」を利用できます。バックアップが無い場合は、 再度「電子証明書発行申請」が必要です(手元に届くまでにおよそ1週間程度要します) ※バックアップした電子証明書であっても有効期限が切れている場合は、ご利用にはなれません

## 3-1. 「電子証明書」バックアップ手順

ファイル名を指定して実行(R) シャットダウンまたはサインアウト(U) > スタート デスクトップ(D) アー CEIE/パンプリン(IR)	①画面の左下のWindowsボタンを右クリックし 「ファイル名を指定して実行(R)」を選択
アイル名を指定して実行 × デ ファイル名を指定して実行 × デ 実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、イン ターネットリソース名を入力してください。 名前(Q): [ettingunst] v OK キャンセル 参照(B)	②「certmgr.msc」と入力し「OK」を押下
<ul> <li>              eertmgr - [証明書 - 現在のユーザー]          </li> <li>             アイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルブ(H)         </li> <li>             w 一 記 回</li> <li>             証明書 - 現在のユーザー             </li> <li>             証明書 - 現在のユーザー              </li> <li>             証明書 - 現在のユーザー             </li> <li>             証明書 - 現在のユーザー</li></ul>	③「certmgr」画面で、「個人」を選択し、「証明 書」を選択
発行先     発行者     有効期限	④発行者が「Online Billing NW Common Root CA」の、 <b>有効期限が切れていない証明</b> <b>書を選択</b> し、右クリック 「すべてのタスク」 → 「エクスポート」の順に選択
5 * 証明書のエクスポート ウィザードの開始 このウィザードでは、証明書、証明書信頼リストおよび証明書矢効リストを証明書ストアからディスクにコビーします。 証明機関によって自行された証明書は、ユーザーIDを確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたキャリティで保護されたキャリティで保護されたキャリティで保護されたキャリティで保護されたシステム上の領域です。 通行するには、「次へ」をクリックしてください。	⑤証明書のエクスポート ウィザードの開始 画面で 右下の「次へ(N)」を押下

#### 電子証明書のバックアップ手順 -2 3.



⑥秘密キーのエクスポートで、 「はい、秘密キーをエクスポートします」を選択し、 「次へ」を押下

⑦ Personal Information Exchange – PKCS#12(.PFX)」を選択し、 「証明のパスにある証明書を可能であればすべ て含む」と「証明書のプライバシーを有効にす る」にチェックを入れて「次へ」を押下

⑧「パスワード」のチェックボックスにチェックをし、 証明書のパスワード(4桁の半角数字)を入 カし、「次へ」を押下

※証明書パスワードは、ヒアリングシートの 「1.PC設定」シートに記載しています

※お客様にて、任意のパスワードに設定される場合 は、紛失しないように管理をお願いします

⑨「参照」ボタンを押下し、サブ画面で証明書の バックアップ先を選択後、任意のファイル名を入 カし「保存」を押下

「次へ」を押下

(例)参照先:「ダウンロード」フォルダを選択 ファイル名:オン資PC 電子証明書 受付01

Δ

# 3. 電子証明書のバックアップ手順-3

÷ ₽	証明書のエクスポート ウィザード	×	*  ⑩証明書のエクスポート ウィザードの完了 を確認 し、「完了」を押下	
(10)	証明書のエクスポート ウィザードの完了 証明書のエクスポート ウィザードが正常に完了しました。 次の設定が指定されました。		「正しくエクスポートされました」の画面で、 「OK」を押下	
	ファイル名 キーのエクスポート 証明のバスにあるすべての証明書を含める ファイルの形式	CAUsersVy (21) (21) Personal Informatic	証明書のエクスポートウィザード ×	
	<	>	正しくエクスポートされました。	
		売了(日) キャンセル	ОК	



# 電子証明書のバックアップは、以上で完了です

5